

## WWWを見飽きたら 自分で作りたくなる

### 『HTML入門』

WWWといえば、インターネットから即座に連想されるほどメジャーとなったサービスで、個人のWWWホームページを持っているインターネットピープルも多いだろう。本書は、このWWWのページを記述するHTML言語について紹介したZiff-Davisから出版されている『HTML Manual of Style』の翻訳書だ。これまで書店にはWWWサーバーのイ

エローページや、モザイクの使い方といった、WWWを紹介した書籍しか並んでいなかったが、ようやくHTMLの書き方に関する書籍が出版された。内容的には入門書の形態を取り、HTML言語の基本的な構造と、タグの記述形式などが、初心者向けに解説されている。また、すでに実際のサーバー上に掲載されているWWWホームページのサンプル集も含まれていて、WWWのページを作りたいが書き方がよくわからないといった人には最適だろう。



付録には、HTMLのクイックリファレンスや最新版HTML3.0の概要、オンラインの参考文献などが掲載されている。また、ネットスケープと対応させて、流行のインタースト GIF やバックグラウンド GIF、表形式の違いにもふれている。HTMLの言語化仕様は現在急速に変わっている。定期的な改訂を続けて欲しいものだ。



# クリエイション & コラボレーション

鷲谷好輝 Yoshiteru Sagiya

## ニュースグループで 生まれたガイドブック

### 『fjの歩き方』

インターネット上のニュースグループは星の数ほどあるが、中でも日本語メッセージが扱えて、日本の初代インターネット

うガイドマニュアルを基にして、増補改訂したものだ。

最初にfjの歴史を解説した部分があるが、これはそっくりそのままjunetに置き換えることもできるだろう。ニュースグループの構造や、どういったニュースグループがあるかわかる一覧表、それにニュースグループを利用するうえでの注意点も書かれている。一般の解説本と違ってちょっと変わっている点は、架空の人物を登場させ、会話形式で解説しているところだ。創刊号で紹介した、オーム社発行の『インターネット漂流記』と近い。

なお、専門用語がよくわからない人には、巻末のfj用語集が重宝するだろう。ニュースグループといえばalt.binaries.sexしか思い浮かばない人は、この本を読んで本来のニュースグループの良さを見直してほしい。

トであるjunetから発生したfjというニュースグループにしぼって紹介したのが本書。これまでfj.guideやfj.generalというニュースグループに投稿されていた「fj.\*の歩き方」とい



fjの歩き方編集委員会編  
オーム社開発局発行  
383頁  
2200円  
ISBN : 4-272-06108-6

## ネットワークを使う 有名クリエイターの日常

### 『高城剛の大穴イッパツ』

今年の6月に「フランキーオンライン」というネットワークエンターテインメントを開始するフューチャー・バイレツの高城剛氏が、インターネット上のスター（インフォメーション・ハイウェイスターと表現している）を目指した（？）日々（1992年10月から1994年12月まで）を、日記風に綴っている。雑誌『スタジオボイス』誌上で連載されていたコラムを1冊にまとめたものだ。本の装丁がVHSビデオのような形

態なので、ちょっと見はお洒落かもしれないが、かなりページがめくりにくいのが難点。

前書きには「史上最速を誇るコンピュータ産業界を戦い抜く男の精神論と、デジタルによる価値観の変容の書」と書かれている。コンピュータ産業界とキャンブルの話をつなげた日常雑感というテーマもとてもユニークだが、そうしたビジネスの渦中にある著者が、少し斜にかまえつつ明るくマルチメディアについて語っている点もユニーク。内容は、読者によって好ききらいが分かれるだろう。

ちなみに、著者はコンピュータ関連書籍の棚ではなく、コンビニのVOWの横に置かれるのがふさわしいとも言っている。



高城剛著  
インファス発行  
333頁  
1800円  
ISBN : 4-900785-02-4

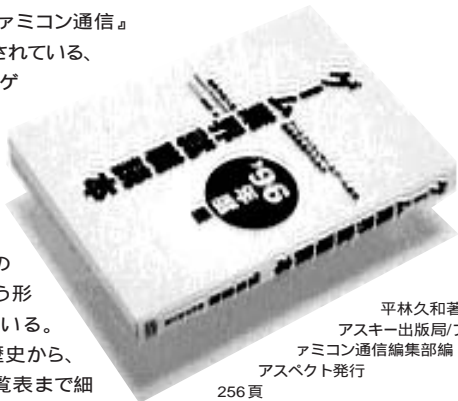
## ゲーム三昧の日々が 就職に役立つかも

### 『ゲーム業界就職読本 '96年度版』

本書は、『ファミコン通信』編集部で編集されている、とてもまじめなゲーム業界への就職ガイドブック。「ゲームクリエイター&ゲーム会社就職志望者のための」という形容詞が付いている。ゲーム開発の歴史から、関連企業の一覧表まで細かく掲載されているので、真剣に就職を考えている人には役立つだろう。

個人的には、本書を読んで、時代が変わってきているのだなと、改めて痛感させられた。昔なら、おもちゃ屋さんで就職と表現したのが、いまではゲーム業界と呼ぶほど、メジャーなビジネスになっているわけだ。

しかし、さらにもう何年かすると、「ゲーム業界に就職」とは呼ばなくなるのではないだろうか。たとえば、身近なところで、スーパーファミコンに衛星コミュニケーション手段が搭載されたのを見れば、将来、ゲームもマルチメディアもインターネットも何もかも、結局は同じ文化（ビジネス&カルチャー）の中に融合され、それぞれの境界など、現在よりもっと曖昧模糊となるはずだ。そうなったときの就職読本を読んでみたい気がする。



平林久和著  
アスキー出版局/フ  
ファミコン通信編集部編  
アスペクト発行  
256頁  
1400円  
ISBN : 4-89366-333-X

## アンダーグラウンドから デジタルカルチャーを知る

### 『サイベリア』

インターネットやBBSなどのネットワーク世界では、やたらと多くの専門用語が現在も爆発的な勢いで生み出されている。技術上のみならず、文化的側面からも数々の用語があり、まるでコンピュータの初心者が付属のマニュアルを理解できないのと同じように、ネットワーク関係の雑誌を読んで意味不明のジャーゴンに首を傾げる人も多いのではないだろうか。

タイトルになっている「サイベリア」は、「サイバー」と「シベリア」の造語であり、デジタルデータ空間と新次元の人間意識があいまう場所だと本書中で定義されている。

そして、このサイベリアに赴く大学教授から作家、芸術家、ハッカー、幻覚剤トリップスターまで、著名な(?) アダングラウンド文化人たちを紹介したのが本書だ。

時代の最先端を走るアンガラカルチャーが、ジャーナリストの立場から客観的に見つめる著者の目には鮮やかに映っており、それはまた同時に本書の内容にも反映されている。

デジタルネットワークが生み出した新しい文化について、その一端を知るには最良の書と言えるだろう。



Douglas Rushkoff 著  
大森 望訳  
アスキー発行  
331頁  
2500円  
ISBN : 4-7561-0498-3

## クリフォード・ストールが インターネットを語る

### 『Silicon Snake Oil』

クリフォード・ストールという名前を聞いて、すぐに連想するのが、その著書である『カッコウはコンピュータに卵を産む』だろう。ほんの75セントだけアカウ

ント使用料金が違うことに端を発し、ドイツのハッカーとの追跡劇を克明に記述したその本は、日本でもかなりの評判になったので憶えている人も多いはずだ。

そのストール氏の書き下ろしが本書。情報スーパーハイウェイであるインターネットに関して、維持にかかるコストと得られる情報利益などが、独自の語り口で述べられている。コ

ンピュータが保持する情報と人間が生み出すさまざまな文化とを絡ませて、インターネットがどれほどのもので、本当にこれからの将来に必要なのか、またネットワークが重要なキーポイントとなり続け得るのか、その価値を探り出している。

本書には、多方面からインターネットを見つめた姿勢が明白に現れており、これまでのありきたりのインターネット解説本からは得られない、もう一つのインターネットが見えてくるだろう。



Clifford Stoll 著  
DOUBLEDAY 発行  
247頁  
US\$22.00  
ISBN : 0-385-41993-7



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)